

京都(6/14)、三重(6/19)で集会や街頭行動

○京都では地方議員を含め100名規模の集会を開催

京都公務労協は6月14日18時20分から、ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）において、「公共サービス基本条例を求める京都集会」を開催した。この集会は、公務労協の提起による公共サービスキャンペーンの一環として実施されたもので、各構成組織や地方議会議員等100人を超える参加者があった。

集会では、冒頭に京都公務労協の瀬戸議長から、「公共サービスを守るためにも今回の参議院選挙は重要であり、積極的に取り組んでいきたい」という決意が述べられた。続いて吉澤・公務労協事務局長による講演を行った。吉澤事務局長からは、諸外国と比較した日本の公共サービスの現状と「公共サービス基本条例」の必要性、今後の新政権に求めていく事などについて、わかりやすく説明がされ、参加者は、理解を深め合う事ができた。

最後に、「公共サービス基本条例制定を求める要請書(署名)」の活動に積極的に取り組んでいくことを確認し、集会を終了した。



あいさつする瀬戸議長

○三重では条例制定を求める街頭行動（県内8カ所）と集会開催

連合三重、連合三重官公部門連絡会は、6月19日、プラザ洞津で183名の参加を得て「質の高い公共サービスを求める三重県集会」を開催した。昨年5月に『公共サービス基本法』の成立を受け、各自治体における基本条例制定を求めて全国でキャンペーンが展開されており、その一環として、三重県では、公務労協の吉澤事務局長を招いて「公共サービス基本条例の制定をめざして」と題した講演を受けた。また県下8カ所の主要駅頭で、6月7日～11日に基本条例制定を求め、チラシ配布行動に取り組んだ。署名活動も官公労産別を中心に展開中で、今後、知事要請などを予定している。